

校長室だより

令和2年7月1日 No16

大田区立入新井第五小学校

校長 岡野 範嗣

●●● You Tubeを見ていたら・・・●●●

いよいよ、7月になりました。例年であれば、7月21日から始まる夏休みが待ち遠しい時期なのですが・・・。子どもたちには、24日からの4連休を楽しみに、長い7月をなんとか乗り切ってもらいたいと願っています。

最近、ユーチューブに「おしえて！イチロー先生！」という動画がアップされています。子どもから大人までいろいろな方が、元メジャーリーガー（大リーグ）の国民的スターである、イチロー選手に質問を投げかけ、それにイチロー選手が、自分の人生経験を踏まえながら答えていくという動画です。最も多い動画は、400万再生回数を超え、ニュースで取り上げられるほどの話題になっています。その中に、こんな質問をする動画がありました。

「先生、宿題がある意味って、なんだと思いますか？」

いつも、宿題を出している側の私たち教員にとっても、イチロー選手が何と答えるのか、とても興味深かったです。

「オーッ！宿題がある意味ねえ・・・まあ、僕の定義は、野球選手がトレーニングする感じかな。」

「えっ！でも、学校で勉強しているのに、家でやる必要ってあるんですか？そこまで、勉強好きじゃないのに・・・」

「宿題は、やりたくないよねえ。中には勉強が大好きで、それをクリアしていくのが気持ちよくなって、(そういう人も)いると思うんだけど、基本は、やっぱり嫌でしょう。できればやりたくないけれど・・・おとなになるとねえ、やりたくないことでもやらないといけなくなるんだよ。」

「その訓練？」

「その訓練と捉えることはできると思うね。やりたくないことをやらないってなったら、社会で生きていけないから、そのための訓練というとらえ方は、僕は好きだね。」

「やっぱり好きなことばかりやっていると、世の中ではなかなか、社会人になると難しくなると思うよ・・・。」

人によって、賛否、いろいろな考え方はあるかと思いますが、私はイチロー先生のとらえ方も、大切であると考えました。「宿題」という面倒で嫌なことを、毎日少しずつ解決していく積み重ねは、勉強が分かるようになる一助となるだけでなく、自分自身の物事に向かう強い心や、あきらめずに続ける力にも繋がっていくと考えるからです。この他にも「おしえて！イチロー先生！」の動画には、「自信を無くしたことはありましたか？」や、「無理してでも、友達の輪に入るべきですか？」「将来、お寿司屋を開きたいけどどう思いますか？」など、子どもたちに関係する素朴な質問がたくさんあり、その一つ一つに、自らの人生経験を織り交ぜながら、本音とユーモアで答えていくイチロー先生のお話は、私にとっても参考になりました。

★▲●■ 6年生が、楽しく絵を描いていました。■●▲★

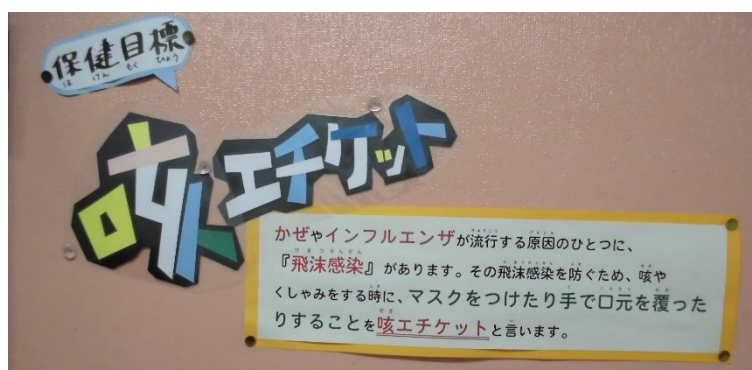
教室を巡回していると、どこの教室も掲示板に子どもたちの作品が貼られるようになり、内容を読むのがとても楽しみになってきました。観察カードひとつとっても、それぞれ感じ方や表現の仕方が違って、子どもらしい感性の豊かさを感じます。校舎の一番奥にある図工室をのぞいてみ

ると、6年生が、何やら「風神・雷神」の絵を模して、アイデアいっぱいの創作画を作成していました。ここでも、6年生なりのアイデアや創造力が発揮され、個性的な絵をたくさん見ることができました。また、6年生ともなると、絵画的な技能も伴い、優れた描写力を発揮している作品も数多く見られ、とても驚かされました。



図工室は、向き合った児童同士の飛沫感染を防止するため、透明のビニールシートを貼った「つい立」を挟んで学習を進めています。前にもご紹介しましたが、「つい立」は全部で10あり、どの席もマスクの着用と合わせて、ほぼ安全が確保できている状況です。すべて主事さんが手づくりしてくれました。

●●●● **一人一人が、気を緩めず取り組みたいですね** ●●●●



1回のくしゃみで、ウイルスは3メートル飛びます。その速さは時速300キロ。1回の咳で約2メートル飛び、その中には10万個のウイルスが含まれているそうです。こわい こわい・・・



保健室の前には、咳エチケットの掲示があります。

咳やくしゃみによる、飛沫感染を防ぐためには、左記の行動を心がける必要があります。養護の山本先生の手作り掲示物で、右上の顔は、口から糸が出るようになっていて、飛沫がどこまで飛ぶか、糸を引っ張り出して確かめることができる仕掛けになっています。